時事新報

新領地の移住を自由ならしむ可し

新領地の處分に就て土着の人民に對するの手段は嘗て述べたれども日本帝國の領地として商賣に殖產に利益を收め兼て其土地を繁昌ならしめんとするには成る可く多數の內地人を入込ましむること肝要にして自から其移住を促すの方法なきを得ず我輩の所見を以てすれば定期航海を頻繁にして往復を便利ならしむると同時に渡航の手續をば極めて簡易にして人民の自由に一任し毫も之を牽束せざること最も必要なる可しと信ずるなり新領地は日本の版圖內なり日本人が日本の內を往來するは固より自由なる可き筈なれども從來の事實に徵するに小廉曲謹は日本人に免れざる一種の癖にして或は新領地の如きも人民の往來を全く自由にするときは無產無賴の破落戶もしくは一種の婦女子などが入込みて種々の不都合を働き種々の醜體を演ずるに至る可しなどの掛念より窮屈なる法令を設けて內地人の渡航を牽束するが如きことなしとも云ふ可らず若しも然らんには不得策の甚だしきものと云はざるを得ず抑も新領地に往て事を爲さんとするものは決して實直正潔のものゝみに非ず無賴の徒もあれば破廉恥のものもあり其種類は種々雜多にして隨て種々雜多の不都合も起ることならんと雖も我輩は曾に心配せざるのみか其種類の如何は論ぜずして唯その人數のます〳〵多からんことを希望するものなり若しも出來得ることならんには移住者は悉皆財產家に限り其企業の如きも容易に着手せしめず着實穩當を旨として然かも土地を繁昌ならしむるの結果あらば甚だ妙なれども新地の事情は內地の有樣に異なり固より我版圖に歸したる上は充分の兵力を備へて外敵に侵さるゝが如き患なきは勿論、法律の保護も行居きて生命財產の危險を感ぜず商賣殖產の事業は安全に行はるゝことならんと雖も何を云ふにも現に昨日までは敵國の領地に屬し其人民は取りも直さず敵國人にして我を敵視したる者共なれば一旦收めて我領地と爲すと雖も彼等の心事は倘は測る可らずして之に接するには不安心の思なきを得ざる倘は其上に氣候風土も全く內地と異にして動もすれば流行病を發し易く殊に未開の土地に至りては猛獸毒蛇の危險さへなきに非ずと云ふ苟も相應の財產を有して其安全を期するものは內國に於て放資の場所なきを患へず何を苦しんでか斯る危險を冒して萬一の僥倖を謀る可けんや左れば事後早々その地に移りて業を企てんとする者は何れ無資力の冒險者にして家道安き富豪の種族は容易に起ざる可し然るに若しも窮屈なる制限などを設けて渡航を自由ならしめざるときは實際に移住を企つるものも甚だ稀れにして本國の威力を其地に及ぼすを能はず或は土着の人民を日本化せしむるが爲めとて辮髮を斷ち衣服を變ぜしむるなど斷然の處置を施すも一般の氣風は依然たる支那流にして內地人は却て壓倒せらるゝの結果なしとも云ふ可らず何れの國の事例に徵するも新領地殖民地などに移住して種々の事を企つるものは多くは無資力の冒險者に限るの例にして殖民地の富豪となるものは本來無一物より家を成したるもの多し日本の新領地に於ても他日家を成すものは必ず無資無產の輩にして財產家の移住の如きは最初より望む可きに非ざれば苟も其地に往かんとするものは如何なる種類の輩にても自由に許可して毫も牽束することなく移住者の一人にても多くして早く內地の威力を及ばさしむると共に目前の不都合不體裁を咎めずして他日の成功を期すること肝要なる可しと我輩の敢て信ずる所なり

官報

○告示

○遞信省告示第八十三號

自今日本帝國發行葡萄牙領澳門宛ノ郵便爲替ハ香港郵便局ニ於テ其ノ拂渡方ヲ取扱フ

明治二十八年五月二日　遞信大臣　渡邊國武

○第二豫備金支出

明治二十八年度第二豫備金支出

第二回

一金四萬五千三百十八圓一錢　臨時檢疫費

一金二千百八十一圓四十五錢　朝鮮事件費

傳染病流行ノ兆候アルニ付豫防施行ノ爲メ本年勅令第四十三號及第四十四號ニ據リ臨時檢疫局並臨時檢疫部ノ開設費ヲ要セシ淸國及朝鮮國トノ交涉事件ノ爲メ捕獲審檢所諸費等ヲ要シ前記金額第二豫備金ヨリ支出ノ儀主務大臣ヨリ請求有之本大臣同意ヲ表シ之ヲ上奏シ本年四月中勅裁ヲ得タリ

明治二十八年五月二日　大藏大臣　伯爵松方正義

雜報

○乘艦日記（第九）

四月二十四日　威海衛に於て　特派員　永松達吾

●定遠の慘狀●

二十日に入港以來引續き威海衛港內に碇泊し無事の餘り處々激戰の跡を訪ひ沈沒艦定遠に到る

定遠の再び用をなすべきや否やの一疑問となれる事は前便報ぜしが今之を目擊するに艦の中央の大破壞即ち自ら火藥を以て破壞せし跡は實に目も當てられぬ慘狀にして海洋嶋以來の彈痕は數ふるに勝へざれども鎮遠の彈痕四百餘個に讓らざるべし唯水面に現はれし上甲板此の如し而して先月末潜水器を用ひて艦底を探りし模樣を聞けば左舷に受けたる水雷の痕は自ら破壞せし中央の損傷に劣らざる慘狀にて假令辛ふじて之を引き揚げ得るも再び物の用には立つべくもあらずと云ふ

●日嶋の礮壘●

我が軍に向つて攻擊最も勵めし日嶋の砲臺は曾て時事新報紙上に揭げしが如く上海なる兵器製造所にて造りしと云ふ隱見砲二門いかめしく礮壘に並び十二珊砲二門は唯砲身を殘せるのみ火藥は散亂して雨に撲たれ、旗竿は根本より折り取られ棧橋の板さへはぎ去り累々重積しありし彈丸も僅かに隱見砲彈數個を遺せるのみ眞に玉なしとなれり

●戰利品●

聞く所によれば支那人二三十人戰後番兵なきに乘じ恣まに掠奪を行ひしを見附けて悉く之を捕縛し嚴責して追放したるが其巨魁らしき二人の惡徒は今尙は劉公嶋に拘留しあり懲らしめの爲め不日重刑に處する筈なり

旅順口及び劉公嶋に於ける戰利品は之を價格に積らば非常の巨額に上ることならんが其內目新らしきものは旅順口には鐵道のレール及び枕木等重積しあり直ちに我が用をなすべく石炭の如きは開平及び日本炭もあり英國カーデフ炭も少からず現に劉公嶋のみにても貯炭一萬噸內外あり我が艦隊は當分石炭の供給に不自由なかるべし防材用の材木及び錨の如き殘品も多く大砲彈丸の如きは數ふるに勝へず既に本國に贈りしものも尠からず最も價値ある隱見砲も取卸して一は既に船內にありと云ふ

●敵兵再び寄せ來らず●

威海衛に連る山嶺一帶の砲臺は盡く之を破壞し我が軍殘らず引揚げたれば其虛に乘じ之を回復し北京政府に向つては倭兵を擊退し威海衛を回復せりなどの報告をなすは支那兵得意の働きならんと思ひしに彼等は遠く遁走して威海衛附近には其後一兵だも寄せ來らず住民は却て安堵し居れりと

●劉公嶋の大淸潔法●

大連灣には惡疫流行の徵あり金州、旅順等にも赤痢、膓加答留等の發生なきにあらず獨り劉公嶋は遠隔の孤嶋にて未だ去る患なしと雖も住居の不潔なる追ひ〳〵暑氣に向ひ惡疫發生の虞なしとせず今より大に豫防策を講ぜんと一兩日前より其係り官を定めて市街に大淸潔法を行ふことゝなり之に着手せしが戰爭後富豪の良民は多くは離散して歸り來るものも尙は少く殘り居るは其日暮らしの貧民にして住家さへ定まらざるもの多き次第なれば戶每に之を說諭するは容易の事ならざれども係りの醫官は昨日來市街の巡見を始めたり而して余も之に隨行し一々家內を巡見するに狹き一戶に六七人同居するものあり廣き空家に唯一人戶を閉ぢて蟄居するものあり婦女は極めて少く偶々妻女を携ふるものは深く一室に隱れて人の入るを許さず强ひて之に入れば室隅に蟄して面を背く

我等は汝の爲めを計り衛生に注意するものにて他の惡意なきを說き室內の不潔なるを責むれば少しく耳を傾け之に從ふものあれども多くは其室內に入るを嫌ひ衛生の何物たるを解せず其不潔なる筆紙に載せ難く寢室は臺處を接し寢るに寢衣なく臺處に流しを見ず着の身着の儘半風子は體に附て生れしが如く心得、大小便は客間寢室の區別なく垂れ流し異臭紛々汚穢見るに耐へず斯る不潔の動物は我が邦にては豚の外見るべからず此の如き不潔の市街汚穢の人民に淸潔法を行ふは實に至難の業にして先づ彼等の身體より改造するにあらざれば行はれ難かるべしと雖も嚴重に之に命令し時々巡檢して之を譴責し稍や汚穢を去りしものは之を賞し依然不潔を極むるものは之を罰し甚しきは之を追放する位の處置をなさば少しは汚穢を去るに至らんか實に持て餘ましたる民と云ふべし

●珍らしき雨●

二十三日前夜來の降雨午前七時頃止みたり是れ余が乘艦以來始めての雨なり以て雨の尠きを知るべし快晴の日は既に華氏七十度以上の温度に上る事あれども雨の日は四五十度に降る氣候の變化甚しく總て梅雨の候に至らば其不順左こそと思はる

○京都博覽會所見

京都四月三十日發　特派員

●出品物の傾向●

出品期限も已に數日の間に迫り各府縣の陳列物大概出揃ひたる今日、博覽會全體の傾向は如何れと云ふに其[illegible]は細々わりて一方に偏すべからず例へば物貨の精巧、製造の巧拙、實用の價否、價格の廉不廉等互に參酌比較して判斷を下さゞるべからずと雖も先づ出品[illegible]及び出品人員に付て云はんに本會は第三回に比

して三萬七千六
十八人を增加せ
するときは點數に
に於て六萬九千八
すべくもあらず
る思想の發達を見
是等は國務委靡せ
出すべき狀態に
ず故に此點は暫く
何を考察せんに
て實用の適否を
るべからずと雖
たる一般の出品物
其物質も製造も
を得たるの一事は
賜の本旨に適ひた
が製造に許多の
すを勤め或は奧
有るまじきものを
會の如く思ふたる
小ならず何人も
は際立ちて目に
たるもの亦甚だ
博覽會は着實の
特狀は虛僞虛飾の
在り而して其缺
るべし斯る特狀の
ならん

○英佛海軍の

て曾て海軍卿た
し一場の演說を
較して論ずる所
ために費す所實に
軍豫算額は殆ど其
佛國の海軍は其
分の二に匹敵す
軍の二分の一に
百九十二艘なるに
數に至りては英
の將官數は英國
に反し陸上勤務の
名即ち現役
五名なり而して
して殆ど英國海
の報告に據れば
より多きこと百一
伊太利より多き
が其給養部員の數
國の武庫及び軍
重要の關係を有す
四百十一人に過
なり其醫員の數は
要する人員は佛國
[illegible]及び水雷
百九十四人、技術
にして此他佛國に
あれども英國には